

令和7年度(2025年度)北海道鹿追高等学校 学校経営方針

【校訓】 自覚・実践・誠実

【学校教育目標】

- (1) 主体的に探究し協働し課題解決に取り組む態度と力を身に付ける。
- (2) 自らを省察し誠実に改善に取り組む態度と力を身に付ける。
- (3) 自他の生命尊重とともに心豊かな人間性を育み、健全な心身を育成する。

【スクールミッション】

- 異年齢の集団による活動を通じて、自らの個性を伸長するとともに、社会性や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成
- 多様化する国際社会において主体的かつ協働的に取り組む資質・能力を身に付けた生徒の育成
- 多様性を理解し、異なる価値観を持つ他者と協働できるグローバルシチズン(世界市民:持続可能な社会づくりの主体者)の育成
- 鹿追町の中高一貫教育の最高学府として、鹿追創生の核なる学び舎「鹿追創生アカデミア」となる

1 育成を目指す資質・能力(グラデュエーション・ポリシー)

- (1) 探究・課題解決能力(課題発見・設定/情報収集/分析・評価/仮説設定/企画・立案/行動/検証/修正/改善/新しい価値の創造)
- (2) 主体的に行動する力(自学自習力、キャリアパス構想力、自己実現力、質問力、法令・規則遵守力)
- (3) しなやかな耐性力・回復力(レジリエンス:感情コントロール力、ストレス解消力)
- (4) 他者理解・最適マナー実践力(感情的知能、傾聴力、最適な礼儀・言葉遣い・ドレスコード選択能力)
- (5) 対話しまとめて明確に伝える力(ファシリテイト力、クリティカル・ロジカル思考・表現力、情報記録・整理力、発表・交渉力)
- (6) 人とつながり協働する力(多様性受容力、ファシリテイト力、ピア・サポート力)
- (7) ICT 活用力(新規情報収集力、情報リタラシー、倫理感、ICT 運用能力)
- (8) 国際標準語(英語)活用能力

2 教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)

- (1) 特別進学コース・国際探究コースの2コース制の選択
- (2) 特別進学コースは難関大学・国公立大学の進学を視野に入れた教育課程の編成・実施
- (3) 国際探究コースは英語力と探究力の2つを軸に学校設定教科・科目を取り入れた教育課程を編成・実施
- (4) グローバルシチズン(世界市民:持続可能な社会づくりの主体者)を育成するため地域の教育資源を活用するとともに、教科横断的な教育課程を編成・実施

3 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

- (1) 本校の国際理解教育を理解し、積極的に国際交流・国際理解に取り組む意欲のある生徒
- (2) 本校の探究活動を通して主体的に課題解決に取り組む意欲のある生徒

【経営方針】

- 1 スクールポリシー、スクールミッションを柱にすることにより、本校のあるべき姿を明確にした教育活動を展開し、協働意欲に満ちあふれた魅力ある学校をつくる。
- 2 鹿追町の幼小中高一貫教育の最高学府としての高校「鹿追創生アカデミア」を目指す。
- 3 DX を推進し、コース制、英語、探究学習を軸とした教育課程を実施し、教科横断的な学びを推進し、主体的・対話的で深い学びを実現する。
- 4 組織的にかつ協働し、情報共有を行い、役割分担を明確にし、一体化した生徒指導を推進する。
- 5 コンプライアンス(法令規則等の遵守)とアカウンタビリティ(説明責任)を徹底する。
- 6 働き方改革を推進し、教職員が生活や人生を豊かにし、自らの専門性や人間性を高め、教育の質を向上させるための取組を実施する。
- 7 学校魅力化コーディネータとの協働体制の構築により、広報活動を充実させ、入学生を確保する。

【重点目標】

- 1 社会貢献の意欲を高め、多様性を理解し、カナダ派遣事業やカナダ姉妹校との連携等を中心に異なる価値観を持つ他者と協働できるグローバルシチズン(世界市民:持続可能な社会づくりの主体者)を育成する。
- 2 鹿追町を舞台とした持続可能な社会づくりの活動等を通して、主体的に探究し、協働し、課題解決に取り組む態度と力を身に付ける。
- 3 主体的で探究的な学びを通して自己実現を図る人材を育成する。
- 4 情報モラル教育を充実させ、倫理観をもって ICT を最大限に活用する態度とスキルを身に付ける。
- 5 基本的生活習慣を確立し、生きる力を育成する。

【重点事項】

1 学習指導

- (1)教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動、課外活動等、教育課程全般での探究的な学びの実践を通じた主体的・対話的で深い学びの実現
- (2)ICT及びデジタル教材等を最大限活用した、個々の生徒、コースに対応する個別最適化された学びの提供
- (3)教科科目等における探究学習の導入及び地域教育資源を活用したフィールドワーク等の導入
- (4)学校として育成を目指す資質・能力を踏まえた授業評価等による授業改善と観点別評価に基づく学習指導の充実
- (5)積極的な自学自習の支援と外部人材、地域教育資源を活用した社会に開かれた授業づくり

2 生徒指導

- (1)教職員が一体となり、共通理解と共通実践による指導の推進
- (2)教育相談やピアサポート、エンカウターの強化による、生徒の困り感やいじめ、不登校、問題行動等の予防、早期発見、早期指導の更なる充実
- (3)専門的な人材・資源を活用した特別支援教育体制の充実
- (4)保護者・地域・関係機関等との積極的な連携
- (5)生徒が自ら考え主体となって取り組む特別活動(ホームルーム活動、生徒会活動、文化・健康安全・体育的行事)の推進

3 進路指導

- (1)進路希望を実現するための3年間を見通した進路指導体制の構築
- (2)コース制の特徴を活かした進路学習の充実
- (3)論理的かつ明確に考えを表現する力の教育課程内外での育成体制の構築
- (4)望ましい職業観や将来の社会的・職業的自立に向けて基盤となる資質・能力の育成とキャリア教育の推進および積極的な進路情報の発信
- (5)SOC(オンライン公設塾)との協働体制の構築及びスタディサブリの活用促進

4 健康・安全指導

- (1)全ての学校教育活動における情報モラル、いじめ防止、交通安全、薬物乱用防止教育、防災教育の推進
- (2)学校保健活動、教育相談、性やいのちに関する健康教育などの継続的取組
- (3)心身に悩みを抱える生徒に対する組織的な指導
- (4)関係機関との積極的な連携による健康・安全指導の徹底と校内美化・教育環境の維持
- (5)各種感染症に対する迅速な対応体制の継続